

第100期 株主通信

2013年 4月1日 ➥ 2014年 3月31日



FUTABA INDUSTRIAL CO.,LTD.

証券コード:7241

株主の皆様へ

社 是 よい品、より安く

経営理念

私たちは

1. お客様に信頼され、なくてはならない会社
 2. 共に働く仲間が、生きがいと誇りを持てる会社
 3. 地域会社から広く支持され、愛される会社
- であるよう、たゆまぬ努力を続けます。

代表取締役社長 三島 康博



株主の皆様には、日頃よりフタバ産業ならびにグループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

第100期(2013年4月1日から2014年3月31日)の株主通信をここにお届けいたします。

当期の業績について

当連結会計年度における世界経済は、米国では緩やかな回復を続けるなか、欧州も弱いながらも持ち直しの動きを見せております。またアジア地域においては、中国では景気の減速感が続いたものの緩やかな拡大が継続している一方、タイ、インド、インドネシアなどの新興国では停滞感も見られます。世界経済は総じて緩やかな回復基調にありますか、一部の地域においては弱さを含んだ状況にあります。

国内経済は、第2次安倍政権発足以降、金融緩和による消費拡大と財政政策による内需の底上げが生じ、緩やかな回復基調となりました。

当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、北米において買い替え需要が継続し、中国においては販売台数が2,000万台に達するなど、海外需要は全体的に拡大傾向にありますか、欧州は依然として弱含みで推移しており、アジアにおける新興国においては足踏み状態が続いております。国内市場においては、上期はエコカー補助金の政策効果一巡による販売減があったものの、下期は景況感の改善に消費

増税の駆け込み需要も相まって、販売増加の傾向が見られました。

こうした状況のなか、当社グループにおいては、生産体制の見直し、生産効率の向上、原価改善の推進、サプライチェーンの見直しおよび物流費の低減などの収益改善活動に積極的に取り組んでまいりました。

当年度の連結業績は、売上高は3,993億円(前年度比9.3%増)となり、営業利益は27億円(前年度は3億円の営業損失)、経常利益は23億円(前年度は11億円の経常損失)となり、当期純利益は32億円(前年度は40億円の当期純損失)となりました。

配当について

当社は、株主の皆様の利益向上を経営の重要課題のひとつとし、利益配分につきましては、安定的な配当の維持を基本に、経営成績・配当性向などを総合的に勘案し、株主の皆様のご期待に沿うよう努めてまいります。内部留保につきましては、将来にわたる株主の皆様の利益を確保するため、経営基盤をより一層強化・充実するための投資に充当し、今後の事業活動に役立ててまいりたいと存じます。

当社は剩余金の配当等を取締役会の決議をもって行う旨を定款で定めております。

当期末の株主配当金については、当期業績を鑑みて、1株につき3円とさせていただきました。

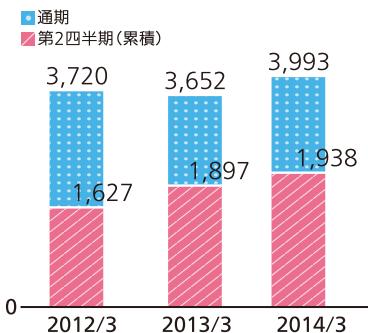
連結財務ハイライト

◆ 売上高

3,993億円

(前年度比 9.3%増)

(単位:億円)

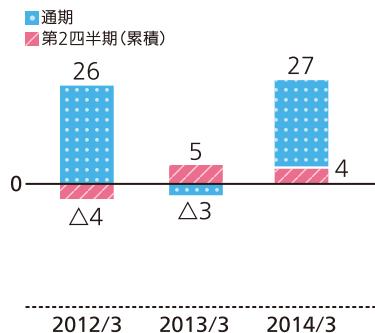


◆ 営業利益

27億円

(前年度 △3億円)

(単位:億円)

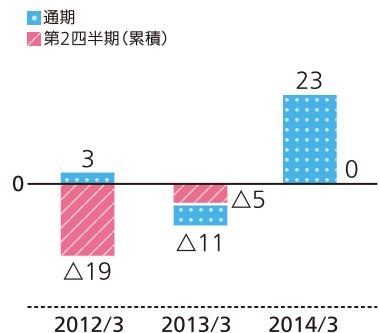


◆ 経常利益

23億円

(前年度 △11億円)

(単位:億円)

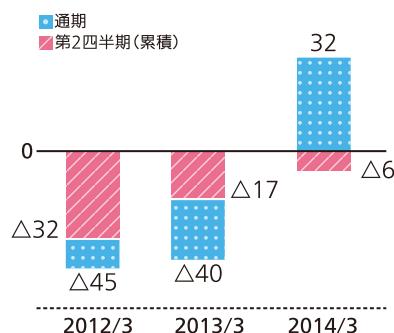


◆ 当期純利益

32億円

(前年度 △40億円)

(単位:億円)

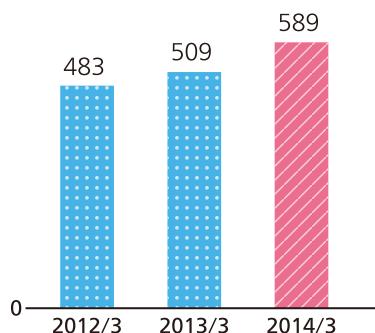


◆ 純資産

589億円

(前年度比 15.6%増)

(単位:億円)



◆ 総資産

2,383億円

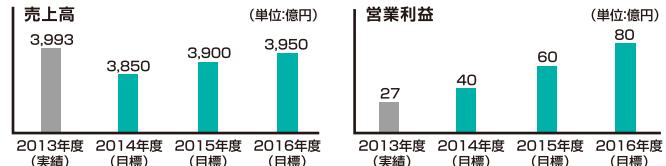
(前年度比 5.1%増)

(単位:億円)



中期経営計画

2014年度から2016年度までの中期経営計画として
5つの基本方針を策定いたしました。
当社はこの中期経営計画を確実に実行し、
新たな成長を目指します。



①「安全、品質」の深化・向上と安定供給

「安全、品質」を深化・向上させ当社製品を常にお客様へ安定してお届けすることにより、お客様満足度の向上や企業の社会的責任を果たします。

②「ものづくり改革」と「コア技術強化」による収益力の向上

ものづくり改革として、材料の仕入れからお客様への納入までの全過程において新たな視点から改善を進め、安全性、品質、生産効率をより進化させた「次世代革新ライン」を構築します。

コア技術の強化につきましては、お客様のニーズである車体の軽量化、衝突安全性の両立を実現するため、素材の薄肉化、超高強度化を達成する「ホットプレス」、「冷間プレスでの120kgfハイテン材の加工」に積極的に取り組みます。



③スピーディーなグローバル展開

各拠点と双方向コミュニケーションをとり、グローバルに当社の最良事例を展開しグループ全体の総合力を向上させます。北米、中国は各統括会社を中心に各拠点の自立化を推進し、その他の地区については日本本体が中心となり、各機能軸で直接かつスピーディーなコミュニケーションを図ります。

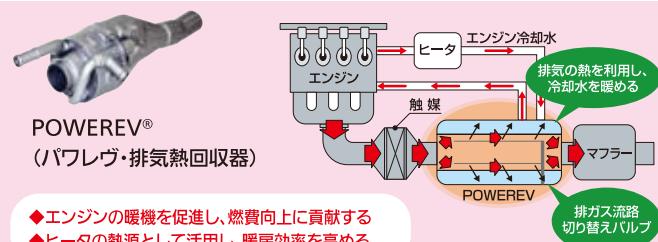


④コア技術を活かした新しい価値の創出、商品化

当社のコア技術を活かし「安全・環境・省エネ・高機能・低コスト」をキーワードにグローバルに商品を開発します。

当社のコア技術の一つである熱マネジメント技術をいかしたPOWEREV®(パフレブ・排気熱回収器)を実用化しています。小型化、高性能、搭載性などお客様のニーズにお応えする商品開発を行い、商品力の向上につとめます。

また、今後成長が見込まれる家庭用燃料電池関連やDPFなどの環境関連商品を、収益力の柱として積極的に開発、商品化します。



⑤人材育成、組織活性化

経営理念、ビジョンをグローバルに共有し、ローカル経営者を育成し、マネジメントの現地化を推進します。

また、ものづくりを支える技能教育、各分野における専門教育、階層別教育など機能毎の人材育成プログラムを実行し、活性化された職場づくりを行います。



グローバル・マネジメント・ミーティング

製品紹介

トヨタ自動車㈱が4月に発表した高熱効率・低燃費エンジン群の「1.3Lガソリンエンジン」に、当社の4-2-1エキゾーストマニホールドが採用されています。

当製品は、掃気効率を高めることで、エンジンの高圧縮比化を可能にし、熱効率の向上に貢献いたします。



1.3Lガソリンエンジン



4-2-1エキゾーストマニホールド

PR活動

当社は、熱マネジメント技術をはじめとした開発技術力と生産技術力を広くPRし、新規顧客の獲得や販路拡大に繋げるため、積極的に展示会へ出展しています。

FC EXPO 2014 「第10回[国際]水素・燃料電池展」

水素・燃料電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置および燃料電池システムが一堂に出展する国際商談展

会期：2014年2月26日(水)から2月28日(金)までの3日間

会場名：東京国際展示場「東京ビッグサイト」

展示製品：POWEREV®(パワレヴ・排気熱回収器)、エキゾーストマニホールド、DPF等の自動車部品

◆出展企業数:182社

◆会場来場者数:67,371名

(同時開催展来場者を含む)



自動車技術展 「人とくるまのテクノロジー展2014」

世界から最新技術や製品が集う自動車技術者のための日本最大の技術展

会期：2014年5月21日(水)から5月23日(金)までの3日間

会場名：横浜国際会議場「パシフィコ横浜」

展示製品：POWEREV®(パワレヴ・排気熱回収器)、エキゾーストマニホールド、DPF等の自動車部品

◆出展企業数:491社 ◆会場来場者数:87,523名



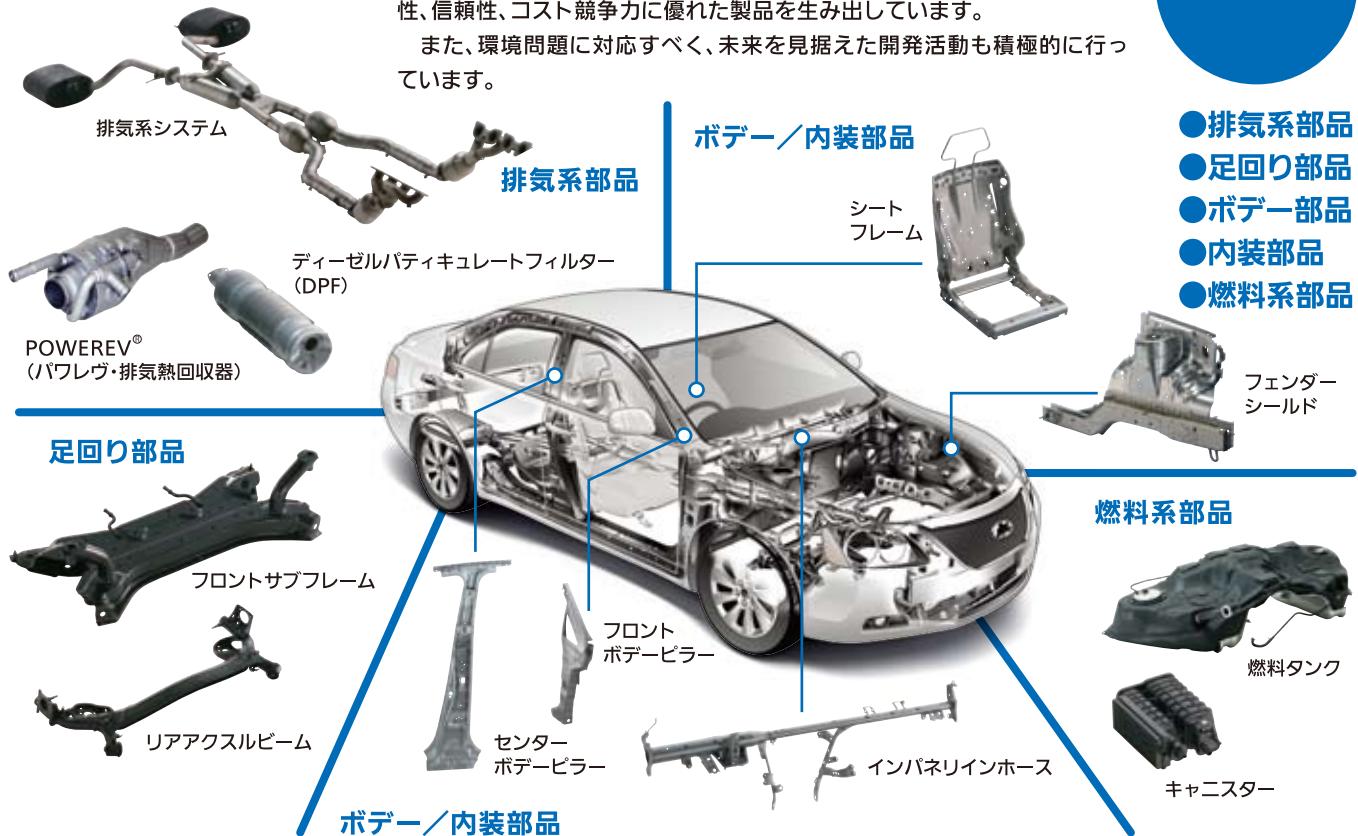
事業のご紹介

自動車部品

当社の排気系システムは、環境性能とエンジンの動力性能を高次元でバランス良く実現し、国内外のカーメーカーから高く評価されています。

ボデー部品、足回り部品などの分野においても、最先端の技術で、安全性、信頼性、コスト競争力に優れた製品を生み出しています。

また、環境問題に対応すべく、未来を見据えた開発活動も積極的に行っています。



情報環境 機器部品

- カラー複合機向けトレイモジュール
- 各種精密部品
- 家庭用燃料電池向け改質器

完成機との同時設計が可能な開発体制と、充実した試験環境を有し、設計・開発・生産・納入まで一貫した体制による高付加価値のものづくりを進めています。



トレイモジュール

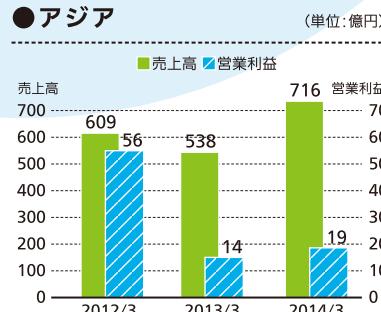
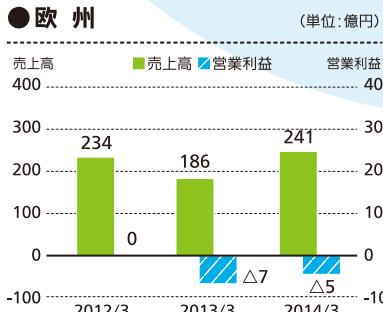
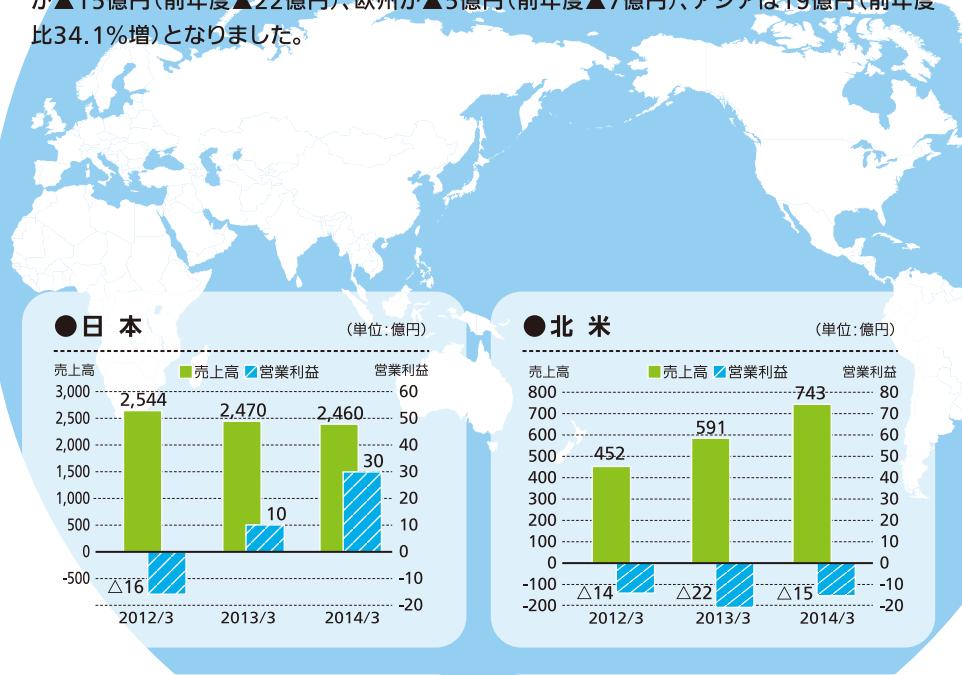


アライナートランスポート

地域別業績の状況

当社グループの地域別業績は、日本においては、売上高が2,460億円(前年度比0.4%減)、セグメント利益は30億円(前年度比194.8%増)となりました。

その他地域における売上高は、北米が743億円(前年度比25.7%増)、欧州が241億円(前年度比29.6%増)、アジアは716億円(前年度比33.2%増)となり、セグメント利益は、北米が▲15億円(前年度▲22億円)、欧州が▲5億円(前年度▲7億円)、アジアは19億円(前年度比34.1%増)となりました。



連結子会社23社

日本(4社)

株式会社フタバ九州
株式会社フタバ富泉
株式会社アピックス
株式会社フタバ総合サービス

北米(5社)

フタバノースアメリカE&M株式会社
FICアメリカ株式会社
フタバインディアナアメリカ株式会社
フタバインダストリアルテキサス株式会社
FIOオートモーティブカナダ株式会社

欧州(3社)

フタバ・テネコUK株式会社
フタバインダストリアルUK株式会社
フタバチェコ有限会社

アジア(11社)

双叶(常州)管理有限公司
雙葉科技株式会社
双叶金属制品(深圳)有限公司
天津双協機械工業有限公司
天津双叶協展機械有限公司
広州双叶汽車部件有限公司
東莞双叶金属制品有限公司
長沙双叶汽車部件有限公司
重慶福達巴汽車部件有限公司
FMIオートモーティブコンポーネンツ株式会社
株式会社フタバインダストリアルインドネシア

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (2014年3月31日)	前連結会計年度 (2013年3月31日)
資産の部		
流動資産	100,726	90,225
現金及び預金	20,244	17,888
受取手形及び売掛金	56,256	46,318
その他	24,276	26,042
貸倒引当金	△ 53	△ 24
固定資産	137,589	136,342
有形固定資産	114,402	107,331
無形固定資産	856	1,119
投資その他の資産	22,330	27,891
資産合計	238,315	226,567
負債の部		
流動負債	113,416	115,077
支払手形及び買掛金	52,803	45,802
短期借入金	32,314	41,825
1年内長期借入金	6,952	8,315
その他	21,345	19,134
固定負債	65,964	60,545
長期借入金	46,967	40,702
その他	18,994	19,842
負債合計	179,381	175,623
純資産の部		
株主資本	33,448	30,196
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	8,616	10,413
利益剰余金	13,159	8,110
自己株式	△ 147	△ 147
その他の包括利益累計額	9,559	7,486
少数株主持分	15,926	13,261
純資産合計	58,934	50,944
負債純資産合計	238,315	226,567

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (自2013年4月1日 至2014年3月31日)	前連結会計年度 (自2012年4月1日 至2013年3月31日)
売上高	399,378	365,246
売上原価	378,224	348,918
売上総利益	21,154	16,328
販売費及び一般管理費	18,369	16,688
営業利益又は営業損失(△)	2,784	△ 360
営業外収益	2,265	2,054
営業外費用	2,684	2,830
経常利益又は経常損失(△)	2,365	△ 1,136
特別利益	7,183	—
特別損失	2,237	2,101
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	7,311	△ 3,238
法人税等	2,918	313
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	4,393	△ 3,551
少数株主利益	1,141	489
当期純利益又は当期純損失(△)	3,252	△ 4,040

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (自2013年4月1日 至2014年3月31日)	前連結会計年度 (自2012年4月1日 至2013年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,266	14,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,235	△ 18,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,702	3,682
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,975	1,874
現金及び現金同等物の増減額	2,304	1,431
現金及び現金同等物の期首残高	17,932	16,500
現金及び現金同等物の期末残高	20,237	17,932

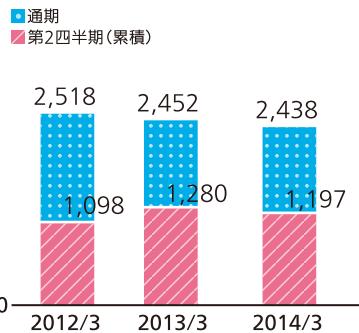
(参考)個別財務ハイライト

◆売上高

2,438億円

(前年度比 0.5%減)

(単位:億円)

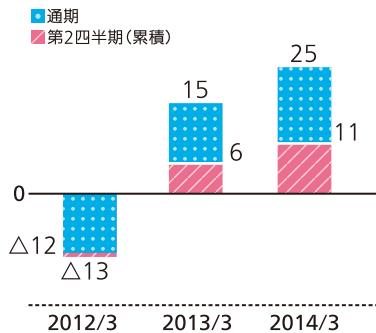


◆営業利益

25億円

(前年度比 70.3%増)

(単位:億円)

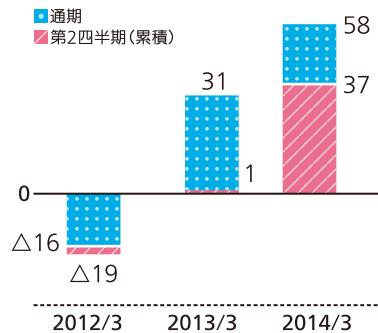


◆経常利益

58億円

(前年度比 83.9%増)

(単位:億円)

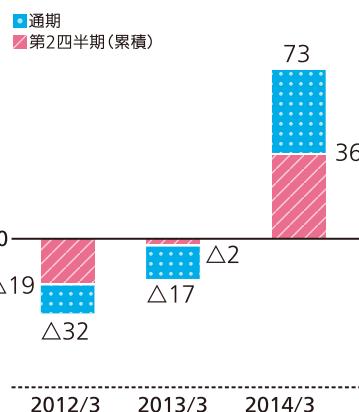


◆当期純利益

73億円

(前年度 △17億円)

(単位:億円)



2014年度版 環境・社会報告書を8月に発行する予定です。

「環境・社会報告書」は、当社の環境・社会分野における一年間の活動結果と今後の計画をご紹介する年次報告書です。ステークホルダーの方々との大切なコミュニケーションツールとして、発行しております。(会社HPにPDF版を掲載しております。)



<http://www.futabasangyo.com/env/>

会社の概要

(2014年3月31日現在)

◆会社概要

設立 1935年3月25日
創立 1945年11月1日
資本金 118億2,017万円
従業員数 9,783名(連結)
事業内容 自動車等車両部品、情報環境機器部品、治具溶接機等の製造及び販売

◆取締役及び監査役

(2014年6月20日現在)

代表取締役社長	三島 康博
代表取締役専務執行役員	佐々木 康夫
代表取締役専務執行役員	土屋 信悟
取締役常務執行役員	二井 広一
取締役常務執行役員	岩月 幹雄
取締役常務執行役員	吉田 隆行
取締役常務執行役員	高橋 友寛
取締役常務執行役員	三宮 嗣巳
社外取締役	木下 潔
常勤監査役	七原 直久
社外監査役	高江 曜
社外監査役	本村 博志
社外監査役	清水 良二

◆事業所

本社・岡崎工場	愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地
緑工場	愛知県豊田市緑ヶ丘6丁目1番地
知立工場	愛知県知立市逢妻町道瀬山110番地
幸田工場	愛知県額田郡幸田町大字長嶺字柳沢1番1
六ツ美工場	愛知県岡崎市在家町字向前田38番地
高橋工場	愛知県岡崎市高橋町字一二三24番地
田原工場	愛知県田原市緑が浜1号5番

◆連結子会社の状況

会社名	所在地	資本金	議決権比率
㈱フタバ(九州)	佐賀県	460百万円	100.0%
㈱フタバ(平泉)	岩手県	495百万円	100.0%
㈱アピックス	愛知県	100百万円	97.5%
㈱フタバ総合サービス	愛知県	10百万円	100.0%
フタバノースアメリカE&M(㈱)	米国	1百万米ドル	100.0%
FICアメリカ(㈱)	米国	14百万米ドル	100.0%
フタバインディアナアメリカ(㈱)	米国	10百万米ドル	100.0%
フタバインダストリアルテキサス(㈱)	米国	10百万米ドル	100.0%
FIOオートモーティブカナダ(㈱)	カナダ	50百万カナダドル	100.0%
フタバテネコUK(㈱)	英国	18百万英ポンド	51.0%
フタバインダストリアルUK(㈱)	英国	25百万英ポンド	100.0%
フタバチエ(有)	チエコ	1,289百万チエコ	85.0%
双叶(常州)管理(有)	中国	2百万米ドル	100.0%
雙葉科技(㈱)	香港	56百万香港ドル	95.0%
双叶金属制品(深圳)(有)	中国	150百万香港ドル	100.0%
天津双協機械工業(有)	中国	6百万米ドル	50.0%
天津双叶協展機械(有)	中国	11百万米ドル	51.0%
広州双叶汽車部件(有)	中国	29百万米ドル	51.0%
東莞双叶金属制品(有)	中国	7百万米ドル	100.0%
長沙双叶汽車部件(有)	中国	12百万米ドル	100.0%
重慶福達巴汽車部件(有)	中国	12百万米ドル	100.0%
FMIオートモーティブコンポーネンツ(㈱)	インド	900百万ルピー	51.0%
㈱フタバインダストリアルインドネシア	インドネシア	48百万米ドル	82.0%

関連会社

三恵工業株式会社(岡山县)
協祥機械工業股份有限公司(台湾)
P.T.Komponen Futaba Nusapersada(インドネシア)
P.T.Greenland Metal Stamping Indonesia(インドネシア)
YMP Press & Dies(Thailand)Co.,Ltd.(タイ)

株式の状況

(2014年3月31日現在)

◆株式の状況

発行可能株式総数

200,000,000 株

発行済株式の総数

70,049,627 株 (自己株式数96,459株を含む)

株主数

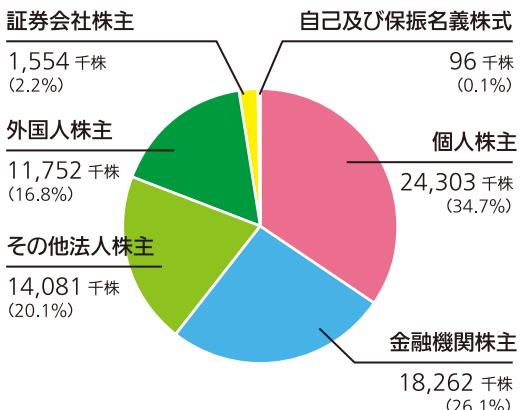
9,950 名

大株主

株主名	持株数(千株)	所有比率(%)
トヨタ自動車株式会社	8,585	12.2
株式会社三井住友銀行	3,063	4.3
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行□ 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	2,919	4.1
ピービーエイチ ポストン カストディアン フォー ブラックロック グローバル アロケーション ファンドインク 620313	1,865	2.6
ロイヤルバンクオブカナダトラストカンパニー(ケイマン)リミテッド	1,792	2.5
フタバ協力会持株会	1,694	2.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,290	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託□)	1,277	1.8
三井住友信託銀行株式会社	1,162	1.6
三井住友海上火災保険株式会社	1,133	1.6

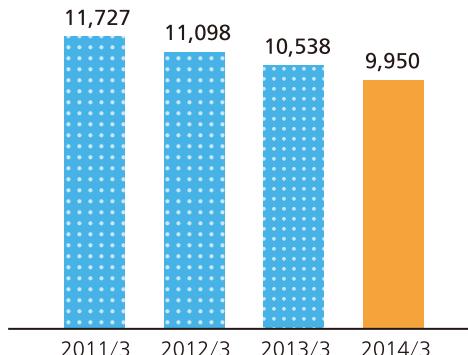
*持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

◆所有者別持株比率



◆株主数の推移

(単位:名)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞および中部経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京および名古屋証券取引所

■ 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内 ■

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。

なお、株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等(特別口座の場合は特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社)にお問い合わせください。